

令和 6 年度第 3 回（第 10 期委員初会議）
高知県子どもの環境づくり推進委員会 会議の概要

1 日程及び議題

日 時：令和 7 年 2 月 2 日（日） 10:00～11:30

場 所：高知県庁本庁舎 2 階 第二応接室

議 題：

- （１）第 10 期委員自己紹介
- （２）高知県こども計画の策定について
- （３）子ども条例に関する令和 7 年度事業について
- （４）その他意見

2 会議の概要（委員からの主な意見）

事務局説明：（１）第 10 期委員自己紹介

高校生の委員 5 名は今回からが高知県子どもの環境づくり推進委員会に初出席だが、大人委員については第 9 期からの継続である。

【参考】

第 10 期委員の子ども委員 5 名（いずれも県内の高校 1 年生）のご発言

○委員

若い人たちや子どもの環境がより良くなるようなアドバイスなどができれば良いなと思っています。

○委員

緊張していますが、頑張って自分の意見を出せるようにしたいです。

○委員

高知県のために、一生懸命意見を出せるように頑張ります。

○委員

社会的に弱い立場に置かれている人を守るための法や、どのような施策を講じているのかを知りたくて委員に応募しました。

○委員

県の会議に参加させていただく側としての正しい対応や意見の出し方などを学んで、実践していきたいです。

事務局説明：（２）高知県こども計画の策定について

資 料：【資料１－１】【資料１－２】【資料１－３】
【資料２－１】【資料２－２】【参考資料１】

当日配布資料：

小学生へのヒアリング概要、中学生へのヒアリング概要

高知県が策定を進めている「高知県こども計画」の素案についての概要や策定後の周知の仕方などについて事務局から説明した。

委員長から会議の出席委員に対して、パブリックコメントへのご意見がある場合は、指定の書類を子育て支援課にご提出いただくよう改めて依頼がなされた。

計画に関する主な質疑は下記のとおり。

○委員

３月下旬に高知県こども計画を策定する第３回部会が予定されているとのことですが、もう一度部会の流れをご説明いただきたい。

【事務局】

県では、高知県少子化対策推進県民会議において、少子化対策に関して官民を挙げて協議を行っております。その１つの部会として、高知県こども計画を策定する部会を今年度に立ち上げました。大学教諭、子育て当事者、医師など専門的な知見をお持ちの方々に委員として内容をご検討いただいております。「高知県こども計画」は、県としても初めて策定するもので、第１回部会（令和６年５月開催）では、どんな方向性で、どんな内容を計画に組み込むのかといった点を協議しました。それを受けて、教育委員会や県警も含めて、関係部局において県事業としての洗い出しを行いました。そうしてまとめたものを計画の素案として、第２回部会（令和６年１０月開催）でお示ししました。専門的な知見からさまざまなご意見をいただきまして、再度各課で計画内容を精査し、現在２月１０日までパブリックコメントを行っている「高知県こども計画（案）」ができた次第です。パブリックコメントを経まして、再度、関係各課で最終調整を行って、３月２６日を予定しております第３回部会でお示しするという流れです。

○委員

パブリックコメントを実施中とのことですが、ご意見は届いていますか

【事務局】

個人ではなく団体から届いたご意見がございます。

○委員

パブリックコメントは高校生でも意見を送ることができますか。

【事務局】

年齢に関係なく、どなたでもご意見をお寄せいただくことができます。

○委員

私は県のパブリックコメントのCMなどを見たことがないのですが、広く周知するためにどんな取組を行っていますか。

【事務局】

高知県庁が県計画等に関してパブリックコメントを行う際には、県が契約をしている広報番組の枠を利用してテレビやラジオで周知しています。

また、今回の高知県こども計画に関しては既存計画が包含されることから、それぞれの計画の審議機関の委員らに対しても周知を行っています。なお、それぞれの会議の場でご意見をいただくこともございます。

○委員

資料1－3のプラン4「子どもが公共の仕事や地域活動などに参加する機会づくり」で、こうした機会は、私たちには想像のつかないものや貴重な体験があると思います。子ども委員とかで、他にもこうした機会はあるのでしょうか。

【事務局】

県の審議機関で大人と一緒に事業に対する意見を出し合えるというのは、高知県子ども条例に基づくこの推進委員会くらいかもしれません。

しかし、国はこども基本法を施行し、こどもや若者を対象とした施策を考える場合には、こどもや若者、当事者の声を聞くという方向で進んでいます。高知県においてもそれぞれの課で、こどもや若者のみなさんの参画に関して、より多くの機会が作られるようになるのではないかと思います。

なお、審議会の委員とは別ではありますが、例えば、選挙における若者の投票率アップのために、担当課では高校生や大学生などに直接お話を伺う場を設けるなどして、投票率向上の施策の一助としています。

当課においても、この後の議題でみなさんにご助言をいただく来年度の中高生向けの事業、「子ども条例フォーラム」について、実際に当事者である高校生の委員のみなさんの声を生かした事業にしていきたいと思います。

○委員

資料2－2に関して、動画はどこに配信される予定でしょうか。

【事務局】

子育て支援課でYouTubeを運営しておりますので、そこにアップロードする予定です。なお、こども計画ができたことについて、こども向け資料と併せて動画のリンクも各学校に対して周知する予定です。

○委員

YouTubeは自分の興味のあるコンテンツが出てきます。高校生や小中学生に、こういう難しいものは、関連（動画）が出てこないんじゃないかと思います。動画を見たくないような（難しいとは思いますが、例えば有名な声優をキャスティングするとか）、視聴者を惹きつけられるような要素があれば、もっとこども達が興味を持つ動画になるかな

と思いました。

【事務局】

今後のこども向けの広報物作成における参考にさせていただきます。

○委員

学校内で「ブリリアントミステイクス（輝かしい失敗）」ができる環境を作ってほしいと思っています。安心して、トライ＆エラーできる、失敗できる環境が必要なんじゃないかなと感じていまして。また、別の学校の高校生たちと話をする機会やコミュニティをつくってほしいなと思います。なぜなら、話をするすることで、自分とは違う考えを知ることができたり、勉強の意欲が出たりするのではないかと思うからです。

また、「こどもまんなか実行計画」など、目標の数値というのはあるのでしょうか。

【事務局】

こども達がのびのびと心豊かに成長できるように、高知県こども計画等を含めてさまざまな取組を行い、こどもにとってより良い環境となるように取組を進めてまいります。こどもまんなか実行計画、こども大綱などに関しましては、国が作っている資料で、こども家庭庁が行っている調査なども含めて様々な数値目標が記載されています。もしご興味があればウェブで検索してみてください。

高知県の計画については、新たにこども計画のための指標を設けたということではありません。例えば教育委員会ですと、教育大綱（第3期教育等の振興に関する施策の大綱）に示されている目標値などを記載しています。関係部局でそれぞれに、これまで進めてきた取組や、そのもととなる計画がありますので、ブラッシュアップしていくようなイメージで、目標設定をさせていただいています。

○委員

私の学校でも、友人に「県外に出たいかどうか」について聞いてみると、全員が県外に出たいと言っています。さらに、「高知に戻ってきたいかどうか」を聞いたら、「戻ってきたくない」と全員が答えました。その理由は、教育的なもので県外に出たいということ、就職などチャンスも県外の方が多いということでした。

○委員

先ほどの委員さんの発言に関連していると思いますが、資料を拝見すると、「高知県で過ごしていきたいか」「高知県で就職したいかどうか」という問いに対して、「地震が怖い」「遊ぶところがない」「教育的に狭い環境にある」という声が上がっています。

そうした意見に対して、おそらく何かしらの対策は県として行っているんじゃないかと思いますが、高知県のこども達に周知する活動というのはされていますでしょうか。

【事務局】

キャリア教育、就職の相談支援、進学に関するガイダンスなど、こどもたち自身に関する取組は、学校で対応していることが多いと思います。今回は、こども計画の中に、キャリア支援、就職など、担当部局の方で書ききれる範囲内で記載させていただきました。また、こども達へのヒアリングでは、高知県は「自然の豊かさ」が強みである一方、そ

の魅力をいかに見える化して発信するかについて力をより一層入れるべきではないかといったご意見もいただきました。新しいものを生み出す(施設の建設や大学数の増加)ことは、厳しいこともございます。今ある素材をいかに磨き上げて、こどもや若者のみなさんに魅力に感じてもらえるか、検討を重ね取り組んでまいりたいと思います。

【子育て支援課長】

違う視点から少し補足をさせていただきます。資料1-1には、6つの計画と、下の方に4つの県の総合計画を示しています。これまでは、この6つのそれぞれの計画を読まないと、内容が理解できない状態でした。新しく作る高知県こども計画では、こどもに関する施策について網羅的に分かるようになります。計画本体を見るのは大変かもしれませんが、本文内容の概要は、デジタルブックなどで、簡単に理解しやすいように周知しようとしております。

また、このような会議も含めて、様々な場で多くのご意見をいただいております。例えば、就職に関することですと、例えば県外にいる人たちに、高知県内にはどんな企業があってどんな特徴があるのか、どんな仕事ができるのか。こうした点をしっかり伝えられるよう、キャリア教育について、教育委員会や私ども知事部局で議論しています。会議でいただいたご意見等も踏まえて検討した内容は、例えば資料右端の「元気な未来創造戦略」の中に記載するなどしています。

いただいたご意見を真摯に受け止めて検討しておりますので、どんどんご意見をお寄せいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員

高校生委員が短時間でいろんな情報を整理して発言されていたので、すごいなと感じました。そして、高知県では、こどもの幸せを願ってさまざまな事業が行われておりますが、そうしたものをまずは見える化をしたということですね。

県が率先して計画の策定を進めているということは素晴らしいと思います。

○委員

こどもに関わる施策なので、できればこどもからもコメントできる環境がもう少しあれば良いなと思いました（パブリックコメントに関して）。

また、ヒアリングについても市内が中心になっているので郡部でのヒアリング（オンラインの利用も考えられる）などについても検討をいただければと思います。

【事務局】

高知県こども計画は5年間の計画策定の期間ですが、適宜、内容修正を行っていく予定です。来年度以降の子ども条例に関する事業の周知なども含めて学校側と連携しながら、こどもからの意見を聞く場（オンライン・オフライン）を設けるよう取り組んでまいります。

○委員

高校生の委員の意見をお聞きして、一つのことを作り上げる過程が重要だと、改めて感じました。私の学校にも先日ヒアリングに来ていただき、こども達が質問に答えるな

かで、高知県の将来を考えることは自分達の未来を考えるうえでも大切だと、生徒それぞれの思いが高まる新たな気づきがありました。みんなの意見をまとめて作り上げていく、そうした過程が大事だと思いました。

計画の策定後には、どんなかたちで計画についての周知をする予定でしょうか。

【事務局】

作成中のこども向け資料については、学校を通してこどもたちの目に触れるように届けていきたいというのが一つです。そしてもう一つは、来年度の子ども条例フォーラムにおいて、こども計画に関する内容をディスカッションのテーマの1つとすることも考えられると思いますし、当課のこども向けの事業を通して周知してまいります。

計画を策定した初年度は、計画の内容を見ていただくということよりも、まずは、計画ができたということを知っていただければと考えています。

○委員

高校生の意見をお聞きして、立派だなと思いました。

計画の周知について広報物を作成していくということですが、ぜひ高校生のみなさんの意見を取り入れていただくとより良いものができると思います。高校生が「見たい」というアクションを起こすヒントを得られると思いますので。

【事務局】

子ども条例に関する事業の広報等について、子どもの環境づくり推進委員会のご意見を受けながら引き続き進めてまいります。また、こども計画に関する周知広報についても、来年度以降、適宜、見直しをはかりながら取り組んでまいります。こどもや、若者（高校生含む）のみなさんの声を踏まえ、当事者に届くよう、周知に努めてまいります。

○委員

ブリリアントミスティクスに関して、学校の中で失敗できる場所がほしいというご意見を言われた委員さんがいらっしゃいました。

具体的にチャレンジしてみたい事柄は何かありますか（遊び、勉強、社会活動）。

【委員】

私の学校では、社会的な活動をあまり教えてくれないので、自分から積極的に面白そうと感じるものを見つけないといけない状況です。最近ですと、「女性法曹に会ってみよう」という活動がありましたが、友人を誘ったものの断られて、緊張しつつ一人で参加しました。

他の社会活動に関しても一人でも飛び込んでいき、ブリリアントミスティクスを心がけたいと思っています。

○委員

人生は失敗の連続だと思います。失敗をしないよりもした方が良くはないかと、私自身も個人的には感じています。ブリリアントミスティクスという表現を覚えました。All mistakes are brilliantということですね。ありがとうございます。

事務局説明：（３）子ども条例に関する令和７年度事業について
資 料：【資料３】

高知県子ども条例の理念に基づき毎年開催しているフォーラムに関して、令和６年度の実施内容について事務局から説明し、来年度の事業内容についてご助言いただいた。

【参加者の募集に関して】

○委員

フォーラムの参加者は、学校のなかでもリーダーのような特別な存在の生徒さんなのではないでしょうか。社会福祉協議会の事業で、夏にボランティアの受け入れをしており、昨年は高校生 1,500 人以上が参加してくれました。社会貢献の意義など、いろんなことを生徒さんに知ってもらう場になっていて、参加意識はすごく強いです。その一方、ワークショップやディスカッションをするとするとハードルが上がるのではないかなと思います。フォーラムについて、リーダー養成のようなかたちで参加対象を絞ることについても、考えられるのではないかと思います。

○委員

高知国際高校では、ディスカッションが得意な子は結構いるのではないかと思います。

○委員

誰かを誘って行きやすくなる会って、どんな会でしょうね。

○委員

シンガーが講師に来た会もありますね。その場合は歌を歌ったりしたんでしょうか。金額的なところもあるかもしれませんが。

【子育て支援課補佐】

当時も楽曲を披露していただくような事業費は計上できていない状況だったかと思われます。去年は、ゲストとして絵描きのマーシーさんをお呼びしました。会場で音楽を流してご自身の作品を参加者にお見せくださいました。いらっしゃるゲストによって、どのように表現されるかは変わってくるかと思われます。

○委員

歌手のような方々がご自身のパフォーマンスを披露されて、幅広い関心の中高生に持っていていただいて参加者を募るのも一つでしょうし、リーダー養成のようなかたちで、そういう活動が好きな生徒さんに対象者を絞るのも一つでしょうし。いろいろなやり方が考えられると思います。

【事業内容について】

○委員

高校1年になって、夢とか進路が目前にせまってきました。まだ夢や進学したい大学などが決まっていない人もいると思うので、こういう事業で、それぞれの将来の視野を広げられる機会が作れたら良いなと思います。

○委員

私は学校で目立つ方ではなくて、学校でもディスカッションはよくあるのですが、あまり自分の意見を言うことはないです。学校以外の雰囲気の中で、ディスカッションできることに意味があると思います。

○委員

今年度の報告書を拝見し、参加者からの回答によりますと、参加のきっかけは「同世代の意見を聞くことができる」ということが挙げられています。また、「今後どのような事業に参加したいか」という質問に対しては、「今回と同様のもの」という回答が44%、56%は「グループディスカッションのみで意見発表に重きを置いたもの」という回答になっています。こうしたことから、主に参加者と話をして、自分の意見を言ったり、他者の意見を聞くというのを楽しみにされているということだと思います。

どんなテーマで話をするかというのがすごくポイントになるのかなと思います。ゲストの話を聞いたり、そのゲストが来るからということが参加動機となるのか、それとも、いろいろなテーマで他校の生徒と話をしたいということに重きを置いた方が良いのか。みなさんいかがでしょう。

○委員

（ゲストとディスカッションができる）両方が良いのではないかと思います。

○委員

自分の学校じゃない人たちとディスカッションできるということが大事ということと、「将来の夢」「進路」というのは、ディスカッションテーマとしては有り難いといった意見が出ましたね。

○委員

高校生みんなが好きなテーマを設けるのは、かなり難しいのではないかなと思います。それぞれに気になることや興味のあることは変わってくるので、（進路など興味関心をもとに）対象をもう少し絞ったかたちでも良いのかなとは思いました。

【実施時期について】

○委員

中学生でも高校生でも参加できるように募集はしている状況ですが、参加は結果として高校生が中心となっています。

事業の実施は今年度は夏休みに行いましたが、来年度も夏でよろしいでしょうかね。

○複数の委員

良いと思います。

【ゲストの希望について】

○委員

高知出身の写真家の野町 和嘉さんのお話を聞いてみたいです。撮影された写真などもご紹介いただいて。

○委員

高知に移住して事業をしている人たちもいますね。そうした移住者の方に高知の魅力を語ってもらうというのも良いかもしれません。高知の人が気づかない高知の良いところを話してもらうというのも、面白いのではないかと思います。

高知から出て行く人が増えて高知に帰ってこないということは辛いことですし、改めて高知の中高生に高知の良さを実感してもらえないのではないかと思います。

○委員

大谷翔平選手のご活躍もあり野球ブームですし、野球関係の人も良いかもしれません。

○委員

県外に出て行って高知に戻ってきた人、県外に出たままの人、高知に縁も所縁もないけれど高知に住んでいる人、そうしたそれぞれの話を自分が高校生の時に、聞いてみたかったなと思います。

○委員

インスタで、高知の美味しいお店を紹介している山崎夫婦に、高知の飲食店の情報を教えてもらうのも面白いかもしれません。

○委員

「パンどろぼう」の作者の柴田ケイコさんに会ってみたいです。高知から有名な絵本を描いている方ですし、お話をお聞きしてみたいです。

【参加インセンティブについて】

○委員

なにか特典をもらえると参加の動機になって良いと思います。

○委員

お菓子セットとかの方が良いかもしれません。(クオカードより)

○委員

子ども未来フォーラムに参加したらもらえる限定シール (オリジナルデザイン)や、そこでしかもらえないものというのも良いと思います。

(オリジナルデザイン：高知県こども計画のキャラクター「ハシビロコーチ」など)

○委員

絵本のグッズもかなり流行っているのです。

もしゲストにパンどろぼうの作者さんが来ることができたら、絵本のシールも良いと思います。講演内容は少し難しいとは思いますが、シールがもらえると、小学生なども関心を持ってくれる可能性があるかもしれません。

○委員

他の事業にはなりますが、柴田先生がその事業のための絵を描いてくださって、クリアファイルも作ったことがあります。今回、(高校生にも)グッズの人気があることを改めて知り、驚きました。

○委員

フォーラムは、講演とグループディスカッションがセットの流れになりますよね。

【事務局】

講演のテーマに沿うディスカッションテーマは毎年設定されています。去年は4つのディスカッションテーマのうち1つが、講演講師のお話から気づきを得る内容のものでした。

○委員

ディスカッションを(講演内容に沿う)全体として1つに絞るか、複数テーマを設定し、そうした関連のお話のできる講師を選ぶかということになるかと思いますね。

テーマが決まってくると、講師も見えてくるような気がします。

○委員

委員みなさんから多様な意見が出ましたので、まとまるということはないと思いますが。(計画策定の過程で)児童生徒にヒアリングを進めていただいているので、そのヒアリングで聞いた内容などをディスカッションテーマとするのも良いかとは思いますが。

高知県子どもの環境づくり推進委員会としては、「高知県がどうなっていけば良いと

思いますか？」というストレートな質問も良いのではないかと思います。ディスカッションをすると現実的なことも意識しますし、より良い高知県にしていくために議論するのも一つ、ディスカッションテーマの候補となるかと思います。

【各委員からのご意見を受けての事務局からの回答】

- ・委員のみなさまからいただいたご意見をもとに、ゲスト講師を含め、事業内容を検討いたします。
- ・ディスカッションのテーマは、「将来の夢」「未来（進路）」について協議できるようにするとともに、ゲスト講師の講演内容に基づくものや、高知県こども計画に関するものなど、参加者が活発に意見を言えるものを設定するよう努めます。
- ・参加募集のインセンティブに関しましても、ゲスト講師の特色が出るようなものをご用意するなど、検討いたします。

事務局説明：（４）その他意見

委員からの追加のご質問やご意見などはなく、議事終了。